2023年２月７日

各　位

会　社　名　　株式会社フェニックスバイオ
代表者名　　代表取締役　　島田　卓
（コード番号：6190　東証グロース）
問合せ先　　専務取締役管理部長　田村　康弘
（TEL　082-431-0016）

「ヒト非アルコール性脂肪性肝炎モデル」に関する日本特許査定のお知らせ

当社と公益財団法人東京都医学総合研究所（所在地：東京都世田谷区、理事長：田中啓二）で共同出願中のヒト非アルコール性脂肪性肝炎モデルに関する発明（特願2019-550478）が日本において特許査定されましたのでお知らせいたします。

非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）とは、アルコールをほとんど摂取していないにも関わらず脂肪肝（肝臓に中性脂肪が蓄積された状態）になり、重症化して肝臓に炎症が起こる疾病です。さらにNASHは、肝硬変、肝がんへと進行する可能性があり、現在、多くの製薬企業において治療薬が開発されています。

本NASH病態モデルは、ヒト肝細胞を持つキメラマウス（当社製品：PXBマウス）にコリン欠乏アミノ制限高脂肪食を与えることにより作製しております。脂肪肝による肝障害から肝線維化までの一連のNASH病態を発症するのに加えて、従来のマウスモデルでは難しかったバルーニング等のヒトNASH患者にみられる所見を再現しており、ヒトのNASH病態の解明や創薬研究に寄与できるものと考えております。

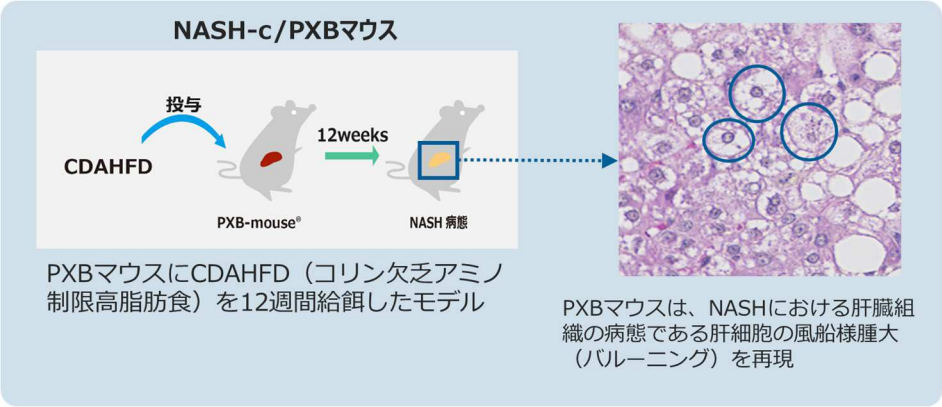
なお、本件による業績等の影響はありません。

【概要】

ヒト非アルコール性脂肪性肝炎モデルマウスは、公益財団法人東京都医学総合研究所及び当社が共同開発したマウスであり、現在、当社の製品であるNASH病態モデルとして使用しております。

具体的には、ヒトNASH特徴の肝細胞のバルーニングおよびマロリーデング様小体が確認され、類洞周囲性（肝細胞周性）の肝線維化を示す複数のデータが示されました。炎症反応（マクロファージ、好中球浸潤、炎症関連遺伝子発現）やヒトALT-1の上昇も認められています。

今回の特許取得により知的財産権の強化を図るとともに、今後もPXBマウスの様々な製品の普及に努め、健康や医療費の問題解決に貢献することを目指してまいります。



以　上